

1 部の使命

私たち市民生活部は、地域とともに暮らす人々がいつまでも住み続けたいと実感できる賑わいのある「やぶぐらし」を市民力と職員力の融合による地域の魅力の創出により実現します。

2 部の経営方針

【経営】市民起点の経営による満足度の向上

4つの重点施策（豊かで快適な暮らし・若者が未来に希望を持てる環境づくり・地域とともに成長する経済・未来を見据えた行財政運営）を常に意識しつつ、部局にとらわれることなく横断的に取り組む

【組織】ニーズや状況の変化に臨機応変に対応し、より良い成果を目指す組織を目指す

【人材】エビデンスに基づく思考や行動による対応力の強化と接遇、コミュニケーション能力の向上に努める

【協働】包摂社会を実現するため、例えば地域自治組織を核とした市民協働の積極的推進による地域力の維持向上を目指す

【改善】市民ニーズと中長期的視点に基づく効果的な政策立案

【財政】財源及び費用対効果並びに誘発効果を意識した有効な予算編成と執行

3 部の経営体制

【所管課及び人員】

市民課13人、やぶぐらし・地方創生課5人、人権・協働課6人、養父地域局9人、大屋地域局9人、関宮地域局7人、関宮小さな拠点整備推進室1人、まちづくり文化交流課4人、公民館10人
部長級2人、課長級10人、主幹12人、副主幹2人、一般職18人、再任用職員2人、会計年度任用職員19人 合計65人

【予算】

部総予算額 1,723,707千円

4 重要経営課題

- ・成果（結果）につなげる部の経営
- ・市民ニーズと中長期的視点に基づいた施策形成
- ・デジタル社会に対応した基盤整備（マイナンバーカード及び電子証明の円滑な更新）
- ・多様化し増加する特殊詐欺等への対策
- ・地域資源を有効に活用した地域課題の協働解決
- ・人権啓発及び女性活躍の推進
- ・地域自治組織との連携強化及び活動活性化のための支援、指導
- ・若者等に対する職業選択肢の増加及び雇用機会創出のための部局を超えた取組
- ・地域経済の活性化を視野に入れたふるさと納税寄附額の増加
- ・文化芸術施策への理解度向上（社会的処方）の推進
- ・文化団体活動活性化の取組
- ・各種施設の維持管理費用の増大に対する長期的視点を踏まえた対策
- ・多様化する市民ニーズに対応する専門性の高い職員の育成
- ・市内外に発信すべきあらゆる情報の選択と効果的な情報発信手段の確立

5 部の重要政策の取組内容

若者が未来に希望を持てる環境づくり

養父市ががんばる若者応援給付金給付事業（地域をつなぐ若者応援事業）

YBパーク整備事業（公民館管理事業）

地域とともに成長する経済

関宮地域局周辺整備事業

地域自治組織運営事業

その他

元気な養父づくり応援寄附推進事業

定住促進対策事業

静霊苑改修事業（火葬場管理事業）

文化芸術イベント事業（文化会館・ホール運営事業）

ビバホールチェロコンクール推進事業

地域自治組織拠点整備事業

（社会的処方への推進、公共施設等総合管理計画改訂、養父グンゼ跡地活用）

6 部の経営目標

【柱①市民】

- ・移住定住施策を利用して移住定住した人数 120人
- ・多様性社会に向けたセミナー、研修会の開催 5回
- ・移住相談件数 1,300件
- ・審議会などの女性委員の割合 概ね5割を目指し70%を目標
- ・図書貸出利用者数 19,800人
- ・文化・芸術活動への市民参加者の増
：自主事業及び文化祭等によるホール等利用者数 31,000人
- ・生涯学習関連講座参加者数 1,000人（講座参加者の満足度 90%以上）

【柱②地域】

- ・地域の特色ある事業の開催 75事業（前年度事業数）以上（対象事業の精査必要）
- ・地域自治組織における多世代交流事業の推進 交流事業全体の40%以上
- ・包括交付金の検証と見直し 令和8年度実施に向け改良
- ・関宮地域局周辺整備事業の進捗管理
Ⅰ期工事、Ⅱ期工事設計及び施工者契約の年度内完了
官民連携による運営の仕組み構築
- ・地域自治組織との協働強化 地域担当チーム職員の活動延べ人数 270人以上
- ・犯罪発生件数（刑法犯認知件数）の減少 前年度件数以下 （3人×5回×18自治協）

【柱③公共】

- ・マイナンバーカード保有率 93.0%（コンビニ交付利用率 30%）
- ・ふるさと納税寄附額 300,000千円

7 前年度の経営目標及び実績

【柱①市民】

- ・△移住施策を利用して移住した数
130人（うち20～39歳女性の割合 35%）⇒103人（34.0%）
- ・○多様性社会に向けたセミナー、研修会の開催 4回⇒9回
- ・○移住相談件数 1,100件（うち空き家バンク成約件数 20件）⇒1,174件（20件）
- ・△審議会などの女性委員の割合 30%以上⇒28.7%
- ・○図書貸出利用者数 19,000人⇒19,600人
- ・△文化・芸術活動への市民参加者の増
自主事業及び文化祭等によるホール等利用者数 32,000人⇒30,582人
- ・△生涯学習関連講座参加者数
1,000人（講座参加者の満足度 80%）⇒865人（98%）

【柱②地域】

- ・○地域の特色ある事業の開催 75事業（前年度事業数）以上⇒85事業
- ・△地域自治組織における多世代交流事業の推進 交流事業全体の40%以上⇒29.3%
- ・○包括交付金の算定根拠等の見直し 令和7年度実施に向け条例改正⇒3/26可決
- ・○関宮地域局周辺整備事業の進捗管理 エリア1整備に係る早期発注⇒3/31契約
- ・△地域自治組織との協働強化 地域担当チーム職員の活動延べ人数
200人以上⇒117人
- ・△犯罪発生件数の減少 前年度件数以下【刑法犯認知件数82件⇒97件】

【柱③公共】

- ・○マイナンバーカード保有率
92.0%（コンビニ交付利用率 27.5%）⇒92.2%（26.3%）
- ・△ふるさと納税寄附額 300,000千円⇒292,970千円（3/21時点）

【評価】

部の経営目標15項目のうち、7項目で達成、8項目で未達成であった。達成率は46.7%。

【原因・改善・対応】

・自然、農林業、住宅、教育、医療等インフラ等魅力ある「まちの土台」を移住希望者等に伝え移住者数増を推進したが、未達となった。一定数、人口の減少抑制に寄与できたと評価。引き続きターゲットを意識した養父市のプロモーションに努める。

・女性委員の割合は、国の審議会等は42.0%となっており、意思決定の場での女性割合が社会として増加傾向にあり、市についても、昨年度と比較して増加したが、個々の考え方や行動に差があるため結果が伴わないと分析している。短期的な効果は期待できないが、引き続きチラシ作成配布や研修会等の企画、実施による啓発を行い様々な分野において多様な視点が取り入れられるよう工夫する。

・文化・芸術活動への市民参加者の増を目指し自主事業及び文化祭等様々な事業を展開し、概ね達成したものの、台風接近による「せきのみやふれあいまつり」の中止が大きく影響したと考えている。

・生涯学習関連講座参加者数は、1講座当たりの募集人員が少ない等の理由により、目標を達成することができなかったが、受講生の満足度は高い。引き続き魅力的な講座を企画するなどの工夫を加えながら進めていく。

- ・地域自治組織における多世代交流事業は、どの自治組織も主要事業として計画推進しているが、昨年は台風によって、企画されていたものの実施できず中止となった事業があったため、未達成となった。

- ・地域づくり計画の見直しを行う自治組織では、担当チームとして情報提供や部会での意見交換など積極的に関わることができたが、従前の事業を実施する自治組織では、地域住民が主体的に事業を進めているため、担当チームとの関わり方に迷うこともあり、地域自治組織との協働強化目標が達成できなかった。

- ・犯罪を未然に防ぐため、警察とともに予防啓発に努めているが、全国的に詐欺被害が増加傾向にあり、本市でも増加傾向にあるため、未達となった。

- ・ふるさと納税寄附額については、目標を達成できなかったものの、計画的なPR戦略、返礼品づくり、寄附者への丁寧な対応や文書発送などによるリピーター獲得、返礼品提供事業者の新規開拓や良好な関係性の維持等への取組による成果により、実績を伸ばすことができた。本年度も効果的なPRや返礼品の開発及び丁寧な対応に継続して取り組み、更なる寄附額の増額を目指す。